2026 年 7 月　ver.1

研究課題名	慢性 A 型大動脈解離に対する手術症例の検討
研究の意義・目的	急性大動脈解離は、大動脈の内側に亀裂が入り、壁が裂ける重篤な病気で、多くの場合は突然の強い胸や背中の痛みを伴います。特に上行大動脈に解離が及ぶ Stanford　A型は緊急手術が必要となります。一方で、自覚症状がないまま経過し、健康診断や他の病気の検査で偶然見つかることもあります。このような場合は「慢性 Stanford A型大動脈解離」と呼ばれます。 慢性Stanford A型大動脈解離は比較的まれな病気であり、どのような患者さんに、どの時期に手術を行うのが最も望ましいのか、まだ十分な知見が得られていません。 本研究では、慢性Stanford A型大動脈解離に対して予定手術を受けられた患者さんの診療情報を解析し、手術の安全性や治療成績を評価するとともに、より適切な手術時期や治療方針について検討することを目的としています。本研究の成果は、今後の診療の質の向上や、より安全で適切な治療方針の確立につながることが期待されます。
研究を行う期間	機関の長の実施許可日 ～ 2029 年 6 月
研究協力をお願いしたい方（対象者）	2020 年 3 月～2026 年 8 月に大阪公立大学医学部附属病院の心臓血管外科で手術を受けられた慢性 A 型大動脈解離の方が対象となります。
協力をお願いしたい内容と研究に使わせていただく試料・情報等の項目	診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。 ・患者基本情報：年齢、性別、診断名、病歴、既往歴、併存疾患 ・画像検査結果：胸部 X 線、CT、心臓超音波検査 ・手術記録：術式、手術時間、体外循環時間、循環停止時間、脳分離時間、大動脈遮断時間、大動脈や大動脈弁の術中所見、使用した人工血管・人工弁、送脱血路、術中トラブルを含む術中所見 ・術後在院日数、ICU 滞在期間、人工呼吸管理期間、合併症の有無、および合併症の治療経過を含む術後経過

試料・情報を利用する者の範囲および管理について責任を有する者の研究機関の名称	この研究は、公立大学法人大阪 大阪公立大学大学院医学研究科心臓血管外科学のみで行います。 【研究責任者】藤井　涼
個人情報の取り扱い	この研究にご参加いただいた場合、あなたから提供された診療情報などのこの研究に関するデータは、すぐには個人を特定できない形式に記号化した番号により管理されます。 この研究から得られた結果が、学会や医学雑誌などで公表されることはあります。このような場合にも、あなたのお名前など個人情報に関することは含まない形で公表されます。
本研究の利益相反	本研究の利害関係については、各研究機関で定められた利益相反マネジメントの規定等に従って必要に応じて各研究機関の利益相反マネジメント委員会へ報告を行うことにより、利益相反を管理し研究を遂行します。 本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
研究に協力をしたくない場合	診療情報が当該研究に用いられることについてご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも不利益を受けることはありません。
連絡先	大阪公立大学医学部附属病院　心臓血管外科 担当者氏名：藤井　涼 電話番号：（06）6645-3980